

世田谷区の市民活動団体に関する調査

この調査は、世田谷区に所在ないしは区内で活動されている NPO・市民活動団体の活動実態や行政との関係、地域の団体との連携の状況を明らかにし、地域における協働を進めるための研究として世田谷区が行うものです。本調査の結果は、せたがや自治政策研究所が発行する研究活動報告書『せたがや自治政策』に掲載される予定です。

本調査に関するご質問等は、下記の連絡先までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた内容は匿名の統計的データとして処理されますので、本調査へのご回答によって個人や団体が特定されることはありません。

平成 26 年 12 月

せたがや自治政策研究所
(世田谷区政策経営部政策研究・調査課)

【お問い合わせ先】

せたがや自治政策研究所
(世田谷区政策経営部政策研究・調査課)
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺 2-28-3 厚生会館 2 階
電話番号：03-3425-6124
FAX 番号：03-3425-6895

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票には団体のリーダー、もしくは団体についてよくご存じの方がご回答・ご記入ください。
2. 回答は、指示にしたがってあてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。一部、自由に記入していただくものがあります。
3. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。(ボールペンを同封しています)。
4. 該当する質問には、すべてお答えください。
5. この調査票は **12月19日まで**に、同封の返信用封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします(差出人名は無記名で結構です)。
6. 同封の『団体のリーダーに関する調査』にもご協力をお願いいたします。

問1 あなたの団体の所在地はどちらですか。

1. 世田谷区

(町名)

() 丁目

2. 世田谷区以外

問2 あなたの団体が設立されたのはいつですか。

西暦

(数字)

年

問3 あなたの団体の活動の目的および主たる活動内容について具体的にお書きください。

(記入例: 里山の自然環境を保全する、 地域の高齢者に外出の付き添い等の生活援助をする)

問4 あなたの団体で取り組んでいる活動分野すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 高齢者福祉 | 9. 交通安全 | 17. スポーツ | 25. 平和の推進 |
| 2. 児童福祉 | 10. 観光の振興 | 18. 青少年育成 | 26. 防災 |
| 3. 障がい者福祉 | 11. 自然保護・環境保全 | 19. 芸術・文化の振興 | 27. 被災地支援 |
| 4. 労働問題 | 12. 環境問題 | 20. 国際交流・国際協力 | 29. 地域の居場所づくり |
| 5. 健康づくり | 13. リサイクル | 21. 消費者問題 | 30. 商店街振興 |
| 6. 医療 | 14. 教育 | 22. 男女共同参画 | 31. その他 () |
| 7. まちづくり | 15. 生涯学習 | 23. 市民活動支援 | |
| 8. 防犯 | 16. 学術研究 | 24. 外国人の支援 | |

問5 あなたの団体の活動地域はどちらですか。あてはまる番号をひとつえらんで○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---|--------------|-----------|
| 1. 世田谷区内 | → | 問 5-1 | にお答えください |
| 2. 世田谷区外 | → | 問 5-2 | にお答えください |
| 3. 両方 | → | 問 5-1 と問 5-2 | 両方お答えください |

問 5-1 世田谷区内の活動範囲としてあてはまる番号をひとつえらんで○をつけてください。○をつけたものについては、カッコの中もご記入ください。

- | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------|---|--------|-------|-------|---|
| 1. 町内くらい | → | 町名 | (| | 丁目 |) | |
| 2. 出張所・まちづくりセンターの範囲くらい | → | 出張所名 | (| |) | | |
| 3. 総合支所の範囲くらい | → | 支所名に○ | (| 1. 世田谷 | 2. 北沢 | 3. 玉川 |) |
| | | | (| 4. 砧 | 3. 烏山 |) | |
| 4. 世田谷区全域くらい | | | | | | | |

問 5-2 世田谷区外の活動範囲としてあてはまる番号をひとつえらんで○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. ひとつの市区町村くらい | 4. 複数の都道府県くらい |
| 2. 複数の市区町村くらい | 5. 国内全域くらい |
| 3. ひとつの都道府県くらい | 6. 国際的 |

問6 あなたの団体の地域社会との関係は次のうちどれに近いですか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 地域社会と密接に関係しながら活動している |
| 2. 地域社会とある程度の関係を持ちながら活動している |
| 3. 地域社会とあまり関係を持たず活動している |
| 4. 地域社会と関係を持たず活動している |

問7 活動場所についてお聞きします。それぞれについて、あてはまる番号をひとつ選んで○をつけてください。

- | | | | | |
|--|-----------------------|------------------|-------|---|
| ・決まった事務所はありますか。 | (| 1. ある | 2. ない |) |
| ・会合や打ち合わせをするさい、どのような場所を利用しますか。もっともよく利用するもの1つに○をつけてください | | | | |
| (| 1. 自前の事務所・施設 | 4. メンバーの自宅 |) | |
| | 2. 公共の集会所・施設 | 5. その他 (|) | |
| | 3. 民間の施設 (貸会議室・喫茶店など) | 6. 会合や打ち合わせは行わない |) | |

問8 あなたの団体は法人格をお持ちですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 法人格がある (西暦) 年に取得	→ 問 8-1 へ
2. 今は持っていないが、今後取るつもりである 種別 () 法人	→ 問 8-1 へ
3. 法人格は持っていないし、今後も取るつもりはない	→ 問 8-2 へ

問 8-1 法人格がある、または今後取るつもりがある団体の方にお聞きします。法人格をとった理由もしくは法人格をとりたい理由は何ですか。もっともよくあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 税制上有利だから	6. 委託事業を受けるため
2. NPO 法が制定されたから	7. 助成金・補助金に応募するため
3. 民間企業との契約に必要だったから	8. その他 ()
4. 行政からの勧めがあったから	9. 特に理由はない
5. 他の団体からの勧めがあったから	

問 8-2 法人格がなく、今後も取るつもりがない団体の方にお聞きします。法人格が必要な理由は何ですか。もっともよくあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 取得に手間がかかるから	6. 取得するメリットがないから
2. 取得後の事務がめんどうだから	7. 制度がわかりにくいから
3. 団体の継続が不確定だから	8. その他 ()
4. そこまでの規模ではないから	9. 特に理由はない
5. 法律に縛られたくないから	

問9 明文化された規則・会則・定款などはありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問10 あなたの団体の昨年度の年間収入はどれくらいでしたか。

1. 10 万円未満	5. 300 万円以上 500 万円未満
2. 10 万円以上 50 万円未満	6. 500 万円以上 1,000 万円未満
3. 50 万円以上 100 万円未満	7. 1,000 万円以上
4. 100 万円以上 300 万円未満	8. 昨年度に収入はなかった → 問 11 へ

問 10-1 昨年度に収入のあったものすべてに○をつけてください。また、すべての収入の中でもっとも割合が大きかったものの番号を記入してください。

1. 会費	5. 行政からの補助金や助成金
2. 寄付金・カンパ	6. 行政からの業務委託
3. 民間からの補助金や助成金	7. 自主事業の収益
4. 民間からの業務委託	8. その他 ()

もっとも収入の割合が大きかったもの

(番号)

問15 中心的なメンバーの入れ替わりはどの程度ありますか。もっとも近いものをひとつ選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 頻繁に入れ替わる
2. 固定されない程度に入れ替わりがある
3. やや固定されている
4. 固定されている |
|---|

問16 あなたの団体にはリーダーと呼べる人はいますか。

- | | | |
|---------|---------|------------------|
| 1. 一人いる | 2. 複数いる | 3. リーダーと呼べる人はいない |
|---------|---------|------------------|

問17 有給の職員・スタッフの人数を教えてください（該当する方がいない場合は0とご記入ください）。

有給の職員・スタッフの数	()	人
そのうち専従と呼べる人の数	()	人

問18 あなたの団体では、次にあげるような仕事に担当者をおいていますか。それぞれについてあてはまる番号をひとつ選んで○をつけてください。

	担当者をおいている	担当者をおいていない	この活動をおこなっていない
1) 助成金・補助金の応募	1	2	3
2) 会計	1	2	3
3) 会報や機関誌の編集	1	2	3
4) イベントの企画・実施	1	2	3
5) 行政との交渉	1	2	3
6) 外部との連絡窓口	1	2	3
7) メンバー、会員、支援者への情報伝達・連絡	1	2	3
8) ホームページの作成・管理等の情報発信	1	2	3
9) 人事・労務管理	1	2	3

問19 あなたの団体では仕事をどのように分担していますか。

- | |
|--|
| 1. ひとりでいろいろな仕事をしている
2. 複数人で分担し、各人はいろいろな仕事をしている
3. 複数人で分担し、各人は特定の仕事をしている
4. 特に仕事の分担を決めていない |
|--|

問20 あなたの団体は、役員(理事, 世話人, 幹事, 運営委員などとよばれる人たち)の選出に決まりごとがありますか。あてはまるものをひとつ選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 規約や会則などで明文化されたルールがある
2. 規約や会則などで明文化されたルールはないが、慣例化されたルールがある
3. 特にルールはない
4. 役員をおいていない → 問 21 へ |
|--|

問 20-1 では、役員を決めるとき具体的にどのような方法をとりますか。もっともよくあてはまるものひとつに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 選挙
2. 輪番
3. 前任者からの指名・推薦 | 4. リーダーからの指名・推薦
5. メンバーからの推薦
6. その他 () |
|----------------------------------|---|

問 20-2 役員の任期はありますか。また、再選は認められていますか。それぞれについてあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 役員の任期は
1. ある →
2. ない → 問 21 へ | 再選は
1. 回数の制限はあるが認められている
2. 回数の制限なく認められている
3. 認められていない |
|--|---|

問21 メンバーや会員を対象におこなう活動として、以下にあげる中でおこなっているものすべてに○をつけてください。○をつけたものについて、カッコのなかに数字を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 総会 () 人くらいが参加、そのうち中心的メンバーは () 人くらい
2. 理事会・定例会 (年 回)
3. 不定期な会合 (年 回)
4. メンバー・会員同士の親睦・交流会 (年 回) |
|---|

問22 実際に行っている活動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 講習・研修の開催、学習機会の提供
2. イベントの開催
3. 情報提供
4. ネットワーキング・連絡調整
5. 広報誌や書籍の発行
6. 相談の受け付け
7. 施設の設置や運営
8. ウェブサイト、ブログ
9. 署名活動
10. デモ・集会への参加 | 11. 物品の生産・販売
12. 調査・研究
13. 専門技能や人的サービスの提供
14. 資金や物資の援助・提供
15. 権利擁護
16. 創作・表現活動
17. 場・スペースの提供
18. 政策提言
19. 普及・啓発
20. その他 () |
|--|--|

問23 あなたの団体では重要な決定をするとき、どのような方法をとりますか。もっとも近いものひとつに○をつけてください。

1. メンバー全員が協議して決める
2. 中心メンバーが協議して決める
3. リーダーが決める

問24 活動についてメンバーの間で意見が対立するとき、あなたの団体はどのような方法をとりますか。もっとも近いものひとつに○をつけてください。

1. 納得いくまで話し合う
2. 多数決で決める
3. リーダーに一任する
4. 担当者に一任する
5. 無理に結論をださないでおく

問25 団体のこれまでの活動の成果として、もっとも評価できることは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 行政に提案した | 7. 多くの団体や個人と連携・交流した |
| 2. メンバーや会員のためになった | 8. メンバー・会員の交流や親睦ができた |
| 3. 世間一般の人たちのためになった | 9. 行政と関係を築いた |
| 4. 他の団体や個人に活動が広がった | 10. 民間企業・財団と関係を築いた |
| 5. 団体の後継者を育てることができた | 11. その他 () |
| 6. 活動の理念を広めることができた | |

問26 あなたの団体と世田谷区の関係として、もっとも近いものは次のうちどれですか。番号をひとつ選んで○をつけてください。

1. 密接に協力している
2. 密接ではないが協力している
3. 関係はあるが協力的ではない
4. 世田谷区との関係はない → 問 29 へ

問27 あなたの団体は世田谷区と以下のような関係をもったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 補助金・助成金の受け入れ | 7. 各課への意見書・要望書の提出 |
| 2. 委託事業 | 8. 公共施設の利用 |
| 3. 審議会・研究会へ委員を派遣 | 9. 区の広報への掲載 |
| 4. ヒアリング・情報提供 | 10. イベントへの参加・協力 |
| 5. 区長への陳情・要望 | 11. その他 () |
| 6. 区議会への請願・陳情 | |

問28 あなたの団体が関係をもったことがある世田谷区の担当課はどこですか。いくつでも書いてください。

問29 あなたの団体が一緒に活動したことのある団体の数を記入してください。ない場合は0を記入してください。

(数字)		団体	(0の場合は問30へ)
------	--	----	-------------

問 29-1 あなたの団体が一緒に活動した団体の中に、NPO・市民活動団体はありますか。ある場合は団体数もお答えください。

1. ある	→	団体数	(数字))	団体
2. ない	→	問30へ			

問 29-2 NPO・市民活動団体とは具体的にどのような活動を一緒にしたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. イベントの開催	5. 人的支援
2. メンバーの交流	6. 寄付・カンパ
3. 情報交換	7. 勉強会・研修
4. 機材や物品の貸与	8. その他 ()

問30 あなたの団体は以下にあげる団体と交流がありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 町会・自治会	6. PTA	11. 商店会・商店街
2. 社会福祉協議会	7. 小学校・中学校	12. 大学
3. 民生・児童委員協議会	8. 保育園・幼稚園	13. 民間企業
4. 青少年地区委員会	9. ボランティア協会	
5. トラストまちづくり	10. 老人ホーム等高齢者施設	

問31 あなたの団体から派生したり、あなたの団体が設立を支援した NPO・市民活動団体はありますか。ある場合はその数を、なければ0を記入してください。

派生した団体の数は

(数字)

問32 あなたの団体は次にあげるような問題を抱えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 中心メンバーの高齢化	9. 団体内外における意識のギャップ
2. 中心メンバーの固定化	10. 非活動的な会員・メンバーの増加
3. 重要な活動の担い手の不足	11. 会計知識の不足
4. 人手不足	12. 情報発信の不足
5. 資金不足	13. 事業を外部評価する機会がない
6. 施設・設備の不足	14. 会の存在理由が消滅
7. 会員や参加メンバーの減少	15. その他()
8. メンバー間の意識のギャップ	16. 特に抱えている問題はない →問 33 へ

問 32-1 特に問題となっているのは上記のうちどれですか、ひとつ選んで番号を記入してください。

番号

この問題に対して、現在どのような取り組みをされていますか。自由にご記入ください

問33 NPO・市民活動の評価のされ方について、以下の2つのうち、あなたの団体としての意見はどちらに近いですか。番号をひとつ選んで○をつけてください。

- (A) NPO・市民活動は、団体の目標や理念よりも、実績によって評価される方がよい。
(B) NPO・市民活動は、実績よりも、団体の目標や理念によって評価される方がよい。

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. どちらかといえばBに近い
4. Bに近い

問34 NPO・市民活動の目標・理念と活動との関係について、以下の2つのうち、あなたの団体としての意見はどちらに近いですか。番号をひとつ選んで○をつけてください。

- (A) 活動を続けるためには、環境の変化があつたとしても、活動を始めた当初の目標・理念を大切にされた方がよい。
(B) 活動を続けるためには、活動を始めた当初の目標・理念にこだわるよりも、その時々事情におうじて柔軟に対応された方がよい。

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. どちらかといえばBに近い
4. Bに近い

